

平成30年度 まち・住まい・交通の地域エネルギー・環境
に配慮したモデル構想策定支援事業 公募要領

1. 概要

- 国土交通省では、持続可能で活力ある国土・地域づくりに向けて、まち・住まい・交通の一体的な低炭素社会の構築を総合的に推進するため、地方公共団体等における地域エネルギーや環境に配慮した取組を構想段階から支援することにより、都市規模、地域特性等に応じた先導的な地域エネルギー・環境モデルの構築を推進していきます。
- 当該事業は、次年度以降、まち・住まい・交通の一体的な地域エネルギー・環境構想の実現に向けた事業の開始を目指す地方公共団体等から企画提案を募集し、採択された地域に対して、有識者、国土交通省関係部局等から構成されるタスクフォース（以下「タスクフォース」という。）による助言等を行うことにより、構想の構築を図っていただくことを目的として実施します。

2. 募集対象

- まち・住まい・交通分野における地域課題の解決に資する地域エネルギーや環境に配慮した事業を実施するための構想策定を目指す企画提案。
- 募集対象は2～3地域とします。

3. 応募主体

- 地方公共団体、各種団体等（地方公共団体と連携する民間企業を含む）。
- 各種団体等が提案者の場合、構想のフィールドとなる地方公共団体の同意並びに協力又は支援が受けられることが確認されていることが必要です。

4. 企画提案内容

- ①～⑥の内容を様式4に記載してください。

項目	企画提案内容
① 地域の概観	・ 構想のフィールドとなる自治体の概要 ・ 構想の舞台となる地区の概要
② 地域の課題	・ 地域の課題（構想策定の背景） ・ まち・住まい・交通分野での地域の課題 ・ 地方公共団体における上位計画等との関係性
③ 構想の全体像	・ 構想の全体像（地域の特性との関連性）、構想実現により目指す地域の姿 ・ 構想実現によりもたらされる効果（環境面・経済面・社会面）
④ 構想の核となる地域エネルギーや環境に配慮した事業	・ 各事業の内容

⑤ 構想の実現に向けた課題と方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構想・事業の実現に向けた実施体制 ・ 課題に対する対応方針、対応策
⑥ 構想の実現に向けたロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 翌年度以降に活用を期待する国交省の事業 ・ 構想の実現に向けたロードマップ（5年以内）

5. 応募手続き

○ 企画提案書の受付期間

平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 8 月 3 日（金）正午（必着）

○ 提出書類等

- ・ 公募申請書（様式 1～3）
 - ・ 提案書（様式 4）
 - ・ CD-R（様式 1～4 の電子データを格納）
- } 正本 1 部、副本（写し） 9 部

※各申請資料については、MicrosoftWord のファイルに加え、PDF 形式に変換したファイルも CD-ROM に同封のうえ同時にご提出ください。

※併せて、応募書類（電子ファイル）一式については、電子メールに添付してご送付ください（ファイルの容量は可能な限り小さくしてください）。

○ 企画提案にあたっての相談、問い合わせ、提出

企画提案しようとする案件の内容についての相談や企画提案書類の作成方法等の問い合わせ、提出は、以下までお願いします。

〒102-0085 東京都千代田区六番町 2 番地

国際航業株式会社 環境保全部 地域エネルギーグループ

「平成 30 年度 まち・住まい・交通の地域エネルギー・環境に配慮したモデル構想策定支援事業」公募担当

提出先メールアドレス：ene_koubo@kk-grp.jp

TEL：03-6316-4201 FAX：03-5226-3809

6. 企画提案の評価基準

選定にあたっては、以下に示す 4 つの視点から評価を実施します。

- 地域エネルギーの活用、環境への配慮等（地域資源の有効活用、まち・住まい・交通の複数の分野の融合、環境への配慮、技術の活用 等）
- 実行可能性（実施体制、予算化の見通し、上位計画との関係性 等）
- 期待される効果（環境面、経済面、社会面 等）
- 他地域への展開（汎用性、導入難度 等）

○ 地域エネルギーの活用・環境への配慮等

地域エネルギー・環境構想の構築を進めることにより、どのような魅力ある地域をつくっていくのか。

【評価のポイント】

- ① 地域資源の有効活用等
自然・社会等、地域の特性を生かした構想となっているか
- ② まち・住まい・交通の複数の分野の融合等
まち・住まい・交通の複数の分野が融合した個性的な構想となっているか。また、1つの分野に特化した構想の場合、地域の課題を解決できる構想となっているか
- ③ 環境への配慮
まち・住まい・交通の分野において、地域の温暖化対策、低炭素対策等に配慮した構想となっているか
- ④ 技術の活用
低炭素社会の構築に資する技術等を積極的に活用した構想となっているか

○ 実行可能性

提案される地域エネルギー・環境構想は、実現可能性が高いものとなっているか。

【評価のポイント】

- ① 実施体制
 - ・ 事業実施にあたり、各主体が連携し、事業が速やかに開始されるとともに継続的に実施可能な体制が整っているか
 - ・ 地方公共団体の提案の場合、庁内の横断的な協力体制が図られているか
 - ・ 民間主体の提案の場合、構想のフィールドとなる地方公共団体との連携が図られているか
- ② 予算化の見通し、上位計画との関係性等
 - ・ 地方公共団体における上位計画との関係性、予算化（事業予算の獲得）の状況（上位計画への位置づけ及び予算化が図られていない場合は、上位計画への位置づけ及び予算化の見通し・検討の状況）
 - ・ 事業採算性を考慮するなど、実行可能性の高い構想となっているか

○ 期待される効果

提案される地域エネルギー・環境構想の実現により、地域にどのような効果が期待できるか。

【評価のポイント】

- ① 環境面
 - ・ 化石燃料の代替効果、CO₂削減等、環境面での効果は高いか
- ② 経済面
 - ・ 地域全体への経済・雇用等の波及効果は大きい
- ③ 社会面
 - ・ 地域の課題解決に資するか
 - ・ 地域（自治体）のまちづくりビジョン等に即しているか
 - ・ 地域コミュニティの促進、温暖化への適応、防災・減災機能等の効果は大きい

- ・社会資本ストックの老朽化対策として、既存施設の効果的・効率的な活用に資するか

○ 他地域への展開

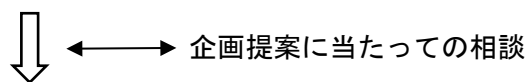
提案される地域エネルギー・環境構想を他地域へと将来的に展開できるか。

【評価のポイント】

- ① 構想の汎用性
多くの地域が抱える課題を解決する構想であるか
- ② 構想の実現容易性
多くの地域が容易に導入可能な構想であるか

7. 選定の流れ

- 平成 30 年 6 月 25 日（月） 企画提案の公募開始



- 平成 30 年 8 月 3 日（金） 企画提案の提出〆切り



- 平成 30 年 9 月上旬頃 タスクフォースにおいて提案内容の審査を実施し選定

8. その他

- ・各採択地域は、タスクフォースにおける中間検討会（仮称）、最終審査会（仮称）にご参加いただき、提案内容の説明、報告等を行っていただきます。
- ・各採択地域に対して有識者、事業者等による現地視察を行いますので、対応をお願いします。
- ・各採択地域は、タスクフォースからの助言等を踏まえた事業の成果を後日指定するフォームにて作成していただきます。